

# 草原の復元作業の効果

草刈りで草原の植物と環境を取り戻す

調査結果

**1** 刈った草を持ち出す区域では、セイタカアワダチソウの占める割合が減ってきました。代わりにネザサや、特にススキの株が目立つようになりました。刈った草を放置する区域に生えるのはほとんどがセイタカアワダチソウでした。



セイタカアワダチソウ(黄緑色)もありますが、ネザサ(濃い緑色)やススキ(細長い葉)がどんどん増えていました。



セイタカアワダチソウの茎は細めですが、密度が高く、他の植物はあまりみられません。草丈は1m以上ありました。



クズやネナシカズラのヤブの間からセイタカアワダチソウの太い茎がニョッキリと生えていました。その丈は2.5mもありました。

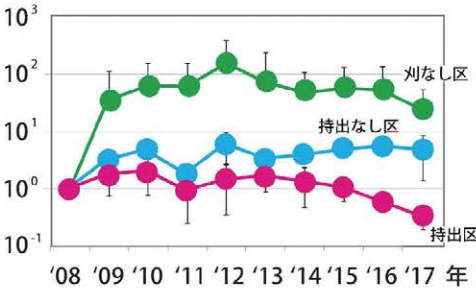


クズやネナシカズラ、カナムグラなどが覆いかぶさっていて、その下は暗く、植物の種類は非常に少ない状態でした。セイタカアワダチソウは少ないですが草原の植生とは全く違っていました。

**2** セイタカアワダチソウの植物体の量は刈った草を持ち出す区域と草刈りをしない区域では減っていました。一方、ネザサやススキの量は刈った草を持ち出す区域で順調に増えていました。

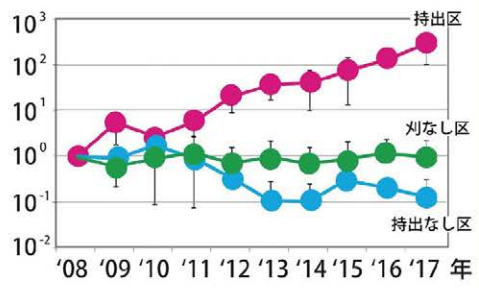
## セイタカアワダチソウの量の変化

2008年の何倍の量になったか



## ネザサ・ススキ・チガヤの量の変化

2008年の何倍の量になったか



**3** 昨年度、刈った草を持ち出す区域で確認されたサワヒヨドリは今年も同様に開花しました。春には採草地に多いスミシヤミツバツチグリなどの花も見られ、草原生植物の再生が確認できました。

## 戻りつつある草原らしい植物



## この春、新しく確認しました



## 追加の山焼き (2018年3月11日)

ヤブ刈りや燃え残り整備で山焼きを応援する



開会式では美祢消防署の方から注意点をお話いただきました。各種注意報も出ておらず、無事に開催できました。



まず燃え残った草を刈りました。まだらに残っているので広く散らばって作業をしました。



今年は刈った草を公有地まで運んで積み上げ、それに火を着けました。周囲がすでに燃えたところで安全に燃やしました。



乾いているのでよく燃えます。次の場所へ移動する際、消火を見届ける役として4名残っていただきました。



長者ヶ森南側のクリ園跡地でも作業しました。同じようにまずは燃え残った草を刈りました。



こちらも公有地で燃やしました。作業は2時間で終了。閉会后、役員でもう一度消火を確認し、消防署にも終了を報告しました。

# 小学生の草原学習

秋吉小学校4年生のみなさん(先生も含め14名)

6月



自然観察



地元にいるとはいえ、足を運ぶ機会は多くないようです。まずは展望台周辺を歩いて生きものを観察しました。

緑のきれいな季節です。葉っぱや花、虫、いろいろなものを見つけて楽しみました。

7月

草刈り体験



草刈りを体験する前に、いまだんな植物が生えているか葉っぱの絵合わせで学びました。

家のお手伝いでカマは使ったことがあるかな？ 長い草を刈る時にはまた違ったコツがあります。しっかり聞いてね。



他の人と感覚をあけて作業しました。パワフルな人、慎重な人、大人が見守る中、それぞれのペースで進めました。

草の束の作り方を学んだ後、実際に束ねてみます。ちょっと苦戦しました。

# 小学生の草原学習

秋吉小学校4年生のみなさん(先生も含め14名)



束ねた草は軽トラックの荷台に積み込みました。  
刈ったばかりの草は重いのでみんなで力を合わせました。



スイカの差し入れ。たくさんお代わりしてくれる人も。  
このスイカの敷きものにも秋吉台の草は使われています。

## 10月



長者ヶ森にて。森の中では雨も気になりません。  
カゴノキの樹皮パズルはなぜか子どもたちの方が上手。

## 草刈り跡の観察



7月の草刈り跡では例年以上に花がたくさん咲きました。  
どんなものが咲いたか、熱心に観察していました。

### こんな花が咲きました

初夏の草刈り跡には秋までに再生した茎からいろいろな花が咲きます。秋吉小学校の草刈り跡地でも9月のなかばから全部で16種類の花が咲き、ふだんの年よりも花が多くなりました。

(下の写真はその一部です)



## 小学生の草原学習

秋吉小学校4年生のみなさん(先生も含め14名)

### 子どもガイドで活躍!



3年生以上が取り組む「ふるさと子どもガイド」で、観光に来た人たちにその場で声をかけ、興味のあるテーマを選んでもらってガイドをします。4年生のみなさんは、秋吉台で観察した草花や、草刈り体験のことをしっかり説明していました。

### 2018年2月

### 山焼き後の観察



山焼きの後は地面に落ちている鉱石や、ウサギがかじった枝、動物のフンなどいろいろなものが見つかりました。



岩場のブッシュの中は、入ってみると快適です。太いつるでふら下がったり、木に登ったりしました。



ドリーネの底にも降りてみました。炭になった茎はペンがわりになります。俳句づくりも盛り上がりました!



大きな岩に登ったり、穴からのぞいてみたり、楽しく遊べました。また草原に遊びに来てね!

# 高校生の草刈り体験学習

山口県立山口農業高等学校 環境科学科  
2年生のみなさん(先生も含め49名)

9月

先生方の草刈り



草丈が高く、山焼きでも燃え残りやすい場所の再生を願って、2012年から複数の学校が草刈り作業を続けてくださっている場所です。



生徒さんの作業に先立って、先生方で草刈りをしていただきました。とても効率よくスムーズな作業で、あっという間に刈った面積が増えていきました。



いつも刈る場所の上部も刈っていただきました。クズのつるが多く、大変な場所でした。



先生方の草刈り跡は今までの最大面積に！地元の植山地区の火道(防火帯)まで刈っていただきました。

## 火道の整備にも!!

先生方が刈って、生徒さんが草を持ち出してくださった火道は、地元の集落が冬に火道切りをしなければならない場所でした。傾斜もきつく、高齢者の多い集落にはきつい作業です。今回高校のみなさんが作業してくださったおかげで、地元の者はとても助かりました！



まず先生方が、火道(防火帯)を幅広く刈っていただきました。



生徒さんが草をロールのように丸めて一網打尽に。火道としては燃料になる草をなくすことが大事なのです。



山焼き当日は広く刈られた火道から安全に火をつけました。

柴崎増夫氏提供

# 高校生の草刈り体験学習

山口県立山口農業高等学校 環境科学科  
2年生のみなさん(先生も含め49名)

9月

草集め・運搬



草刈り作業の意義などをパネルを使ってお話した後、農家さんから草の束ね方を教わりました。



さすが高校生。前日に先生方が刈られた草をどんどんまとめていきます。とても大きな束を作る生徒さんも。



先生の指示のもと、軽トラに束を積み込んでいきます。あっという間にいっぱいになり、農家さんは畑との往復です。



広い面積の刈り草が短時間で片付きました。今回の草は2軒の農家さんが利用しました。地元の伝統的な農業への応援をありがとうございました。

## 春のお花畑になります！

初秋の草刈りでは秋のお花畑はできませんが、次の年の春はたくさんのお花が咲きます。高校生の草刈り跡地では採草地に多い花たちが咲いていました。



2012年からほぼ毎年作業する場所



山焼きだけで草刈りしない場所



スミレ



ミドリツクリ



ニガナ



ヒオキチツボスミレ



アマドコロ



ノアザミ



コシノハナギサ

2017年4月の  
観察結果より

## その他トピックス

### ■ 平成29年度山口県環境保全活動功労団体として表彰していただきました

#### 主な功績

「秋吉台の草原を再生するため環境保全活動に貢献、また小学生への草原学習の実施等、次世代の担い手育成活動に尽力」

11月14日、山口県庁職員ホールにて表彰式がありましたので、代表の松井と副代表の荒木が参加しました。松井代表が弘中副知事から表彰状を受け取りました。

推薦をいただいた県の担当者からは「継続することこそが難しい」とコメントいただきました。決して派手な活動ではないですが、確実に歩むことが大切だと感じました。この受賞を励みに、より精進していきたいと思えます。

いつも行事にご協力いただいている皆様、さまざまな場面でご助力をいただいている方々、温かく見守り励ましてくださる方々に深く感謝いたします。



### ■ 生物多様性理解促進のためののツールとして紹介されました

当プロジェクトの取り組みは平成2011～12年度の環境省の調査事業「野生生物の利活用による地域づくり試行調査」で取り上げられ、環境教育やエコリズムによる地域づくりの推進ツールとして、小学生を対象とした学習しおりを作ることになりました。完成した「秋吉台の草原 学習のしおり」は現在、小学校や高校での草原学習の際に使用しています。

このしおりは、地球環境関西フォーラムが作成した『どうしたら伝わる生物多様性 生物多様性理解促進のためのパンフレットを作成する皆様へ』の冊子の中で、「観光促進ツール」の事例として取り上げていただきました。



いただいた評価  
草原の現状や人の生活とのかかわりまでを含め子どもにもわかりやすく、具体的に学校での現地見学を想定した作られ方で書かれている。関わりの提案まで含む点が好印象。



地球環境関西フォーラム ホームページより  
<http://www.global-kansai.or.jp/chiran/image/seibutsu-tool.pdf>



# 2017年度 活動実績一覧

## 1. 一般募集の行事

実施日	行事内容	参加人数
7/2	草原の復元作業1	25
7/22	秋吉台お花畑プロジェクト1	22
9/24	草原の復元作業2： セイタカアワダチソウ駆除作業	27
10/7	秋吉台お花畑プロジェクト2	17
2018/3/11	追加の山焼き	29

## 2. 学校の学習への対応

実施日	行事内容
6/8	美祢市立秋吉小学校4年生の草原学習
7/11	美祢市立秋吉小学校4年生の草刈り 体験学習
9/13, 14	山口県立山口農業高等学校の草刈り 体験学習
10/19	美祢市立秋吉小学校4年生の草原学習
2018/2/28	美祢市立秋吉小学校4年生の草原学習

## 3. 他団体への協力

実施日	行事内容
10/29	「美祢秋吉台カルストウォーク2017」 への協力

## 4. 調査その他

実施時期	作業内容
5～6月	前年度草刈り跡地の観察
7月	本年度草刈り跡地の植生調査
9～11月	本年度草刈り跡地の観察および植生調査
10月～3月	植生データ解析・山焼き後の観察



## 秋吉台草原ふれあいプロジェクト 2017年度報告書

発行年月日：平成30年3月31日

編集・発行：秋吉台草原ふれあいプロジェクト

〒753-0816 山口県山口市吉敷佐畑 5-18-1

秋吉台草原ふれあいプロジェクト事務局 荒木陽子

E-mail : staff@akiyoshidai.org ホームページ : <http://akiyoshidai.org>